

# I 防災の基本

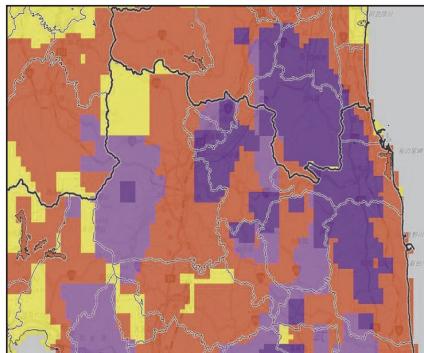
## 情報収集④

### 《土砂キキクル》

土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報等が発表されたときに、土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの雨量及び土壤雨量指数の予測値を用いています。土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、可能な限り早めの避難を心がけてください。



土砂キキクルの例



2時間先までの予測

色が持つ意味	住民等の行動の例 <sup>※1</sup>	相当する警戒レベル
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生してもおかしくない。	一 <sup>※2</sup>
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。 <b>速やかに土砂災害警戒区域等の外への避難を開始する。</b>	4相当
警戒(警報級)	<b>避難の準備が整い次第、土砂災害警戒区域等の外への避難を開始する。</b> 高齢者等は速やかに避難を開始する。	3相当
注意(注意報級)	ハザードマップ等により土砂災害警戒区域等や避難先、避難経路を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	一

※1 自治体から避難指示(警戒レベル4)等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。

※2 技術的な改善を進め、警戒レベル4に相当する「黒」を新設する(令和4年度予定)までの間、「極めて危険」(濃い紫)を大雨特別警報が発表された際の警戒レベルを緊急安全確保の発令対象地域の絞り込みに活用することが考えられます。

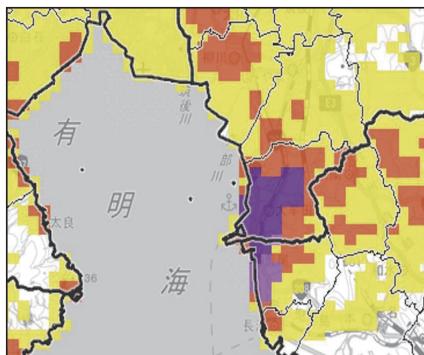
《出典：気象庁ガイドブック 2022》

### 《浸水キキクル》

浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)は、短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、雨が強まってきたときや大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には1時間先までの雨量予測に基づく表面雨量指数の予測値を用いています。



浸水キキクルの例



1時間先までの予測

色が持つ意味	住民等の行動の例	想定される周囲の状況例
極めて危険	表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な浸水害がすでに発生しているおそれがある <b>極めて危険</b> な状況。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
非常に危険	周囲の状況を確認し、各自の判断で、 <b>室内の浸水が及ばない階に移動する。</b>	側溝や下水が溢れ、道路が冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒(警報級)	<b>安全確保行動をとる準備</b> が整い次第、早い行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が床まで水に浸かるおそれがある。
注意(注意報級)	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、各自の判断で、 <b>住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスに近づかないようにする。</b>	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が床まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

《出典：気象庁ガイドブック 2022》